

黒川病院は 子どもから高齢者まで すべての方のための 精神科病院です

病院理念

私たちは地域の方々に愛され、
安心して利用できる病院をめざします。

基本方針

1. 地域医療のニーズにこたえる
2. 温もりのある医療サービスを提供する
3. チーム医療の充実を図る

明けましておめでとうございます。

「私たちは地域の方々に愛され、安心して利用できる病院をめざします。」という病院理念をかがげ診療にあたっておりますが、一人ひとりの診療をすすめるに当たり、全体を通じ色々な角度から安心して診療を受けられるよう努めております。そのために、職員から構成される各種の委員会を作り、これらを総合して一体となった組織としての活動を目指しております。今回は当院での各種委員会の現状について主なものを紹介したいと思います。これらの委員会は各部署の代表の委員で構成され原則月1回おこなわれます。

まず、「院内感染対策委員会」は、常に最新の感染情報を把握し、早期に流行の兆しあれば、委員会にかけ、末端まで注意喚起を徹底し、もし発生したならマニュアルに従い対処致します。インフルエンザや感染性胃腸炎（ノロウイルス）などの流行期にはご家族の面会を制限させていただくこともございます。その節はご協力をお願い致します。

次に、「医療安全管理対策委員会」は、医療面全般に亘り、各部署でのヒヤリハット報告を月ごとに集計して、再発防止対策を論議・分析し、その結果再発防止策を末端のスタッフまで周知を図り、安全面に細心の心配りに努めております。また、「医療安全管理対策委員会」の下部小委員会として「危機管理体制委員会」も設け、通院・入院患者さんが文字通り、安心してご利用できるよう、外部からの犯罪行為、とりわけ暴力行為など悪質な迷惑行為に対して、毅然として警察に通報することを申し合わせております。

「栄養管理運営委員会」は、患者さんの健康維持・栄養状態改善あるいは給食の質の向上をめざし、嗜好にも配慮して、衛生的かつ見た目も良く温かく、心地良く食欲が増すような食事提供を心がけております。

「防災委員会」では、自然災害を含む各種の災害の際、避難方法等の計画立案を行います。とりわけ火災に対しては迅速に対処しなければなりません。出火場所、出火時間など色々な出火場面を想定し、患者さんの協力も得て、避難訓練を定期的に行っております。同時に消防関係の方々から訓練の様子を見てもらい、初期消火から他部署への連絡、消防署への緊急通報等スムーズに実施できるか、毎回講評を受け防災意識を高め、防災につとめております。休日や夜間の災害にも備え、職員の変動もあることから、職員連絡網も適宜更新しております。

「個人情報保護に関する委員会」は、患者さんの個人情報を有効かつ適正に運用できるよう、定期的に委員が院内巡回しチェックを行います。

ほかに、「教育研修委員会」では、新しい知識を吸収し病院職員としての資質向上のため、外部から講師を招いたり、各部署での取り組みや研究などの院内発表会を企画立案します。

以上、主なものをご紹介致しました。くろかわらばんでは、今後も情報発信広報誌として、版を重ねて参ります。引き続き、ご覧下さいますようお願い申し上げます。



院長 関野 敏



アルコール依存症は治るの？

治ることはありませんが、酒を飲まない生活を続けることで「回復」することはできます。

一度アルコール依存症になった人は、たとえ少量のアルコールであっても耐性形成を助長する可能性があります。すなわち、何年間も断酒継続したひとであっても、1杯でも飲酒すれば、大量に飲酒していたころの脳に戻ろうとするメカニズムが働き、意志の力を凌駕する強い飲酒要求に駆り立てられることとなります。結果的に依存を進行させることになるので、生涯断酒が必要と考えられています。ただし飲酒しない限りは、アルコール依存症でない人と同じ生活を送ることが可能なので、“治療ではないが回復はある病気”です。



アルコール依存症の治療に薬はあるの？

アルコール依存症そのものを治す薬はありませんが、離脱症状を漸減するために薬を用いることがありますし、また断酒継続の補助として「抗酒薬」というものがあります。抗酒薬を飲んでからアルコールを摂取すると、吐き気、頭痛、動悸、血圧低下、顔面紅潮などの不快な症状がでますので、抗酒薬を飲むことで飲酒に歯止めをかけることが期待されます。



アルコール依存症の治療にはどんな治療がありますか？

アルコール依存症の治療目標は「断酒」です。生涯一滴も酒を飲まないことが求められます。そのためにアルコール依存症とはどのような病態かを理解すること、大量飲酒による臓器障害や離脱症状、社会的な関連障害（家族関係の悪化、職業能率の低下、経済的困窮）の有無を検討しておくこと、酒なし生活をスタートさせるための対策を検討しておくことが大切です。入院治療では、身体的な健康管理のほか、個人または集団で、治療者と、あるいはアルコール依存症者どうしで話し合ったり、レクリエーションや作業活動に参加していただいたりしています。そうした活動を通して、少しずつ問題となっている現実と向き合えるよう、そして断酒を決断しその継続を図れるよう、一人一人に応じた支援をしていきます。



認知症疾患医療センターからのお知らせ (黒川病院内)

・介護教室

黒川病院に通院されている方及びそのご家族を対象に「介護教室」を月1回、火曜日に開催しています。時間は、午前9時から1時間程度です。外来診察を待っている間を利用し、参加されている方が多いようです。

「介護教室」では、病院内で認知症に関わっているスタッフが講師を務めています。職種を生かし、毎回異なった内容で行っています。参加されている方からは、「自分が抱えている悩みにヒントをもらった」、「話を聞いてもらって、少し楽になった」などの感想も聞かれています。

詳細については、外来待合室にポスターを掲示してありますので、ご覧ください。

これまで開催してきた「介護教室」の内容とこれから開催する予定の内容は以下の通りです。

開催月日	内容	講師
平成24年 4月17日	介護テクニック～介護者の負担を減らす介護について～	介護福祉士
5月15日	介護者のストレス対処法について	臨床心理士
6月19日	認知症のお薬に関する理解	薬剤師
7月17日	バリデーション ～バリデーションとは?～	看護師
8月21日	バリデーション ～バリデーションをやってみよう～	看護師
9月18日	介護食について	管理栄養士
10月16日	介護者のストレス対処法について	臨床心理士
11月20日	口腔内ケアについて	歯科衛生士
12月18日	回想法について	臨床心理士
平成25年 1月22日	自宅でできるリハビリテーション	作業療法士
2月19日	タクティールケアについて	介護福祉士
3月19日	介護保険サービスや施設に関する話	認知症地域支援推進員



車イスへの移乗の仕方について
(介護福祉士)



食事が喉を通過して行く様子について
(管理栄養士)



汚れを上手に取る磨き方について
(歯科衛生士)

【お問合せ】

黒川病院
認知症疾患医療センター

☎0254-47-2640

(月曜～金曜)
(午前9時～午後5時まで)

くろかわらばん第11号

～ 外来診療のご案内 ～

診療科：精神科 内科 歯科
診療日：月～金、土（第1・第3）
休診日：土・日・祝祭日
受付時間：午前8時30分から午前11時まで
診療時間：午前9時から（診療は午前のみ）
もの忘れ外来、児童外来を受け付けています。

・ ・ ・ 精神科 担当医 ・ ・ ・					
月	火	水	木	金	土
宮本	関野	宮本	関野	関野	(関野・松井・宮本)
松井	松井	小熊	松井	宮本	
小熊	(稲月)	(稲月)		稲月	
				小熊	
・ ・ ・ 内科 担当医 ・ ・ ・					
	吉田				

出張等により休診となる場合がございます。
は第1・3土曜のみです。

初めての方（精神科）の予約に関して 医療に関する事や年金、制度の件

上記のことで、お困りの事がございましたら、相談を受け付けております。
窓口、相談員へお問い合わせください。☎0254-47-2422まで

初めての方の予約は9時から16時までとなっております。

お願い

月に1度、保険証を窓口へお見せください。

- ・健康保険証
- ・後期高齢者医療被保険者証
- ・限度額認定証

変更がありましたらすぐにご連絡ください。

請求書は毎月15日前後に郵送しておりますので月末までにお支払いください。

医療法人 白日会 黒川病院
〒959-2805
新潟県胎内市下館字大開1522番地
TEL0254-47-2422 FAX0254-47-3181
<http://www.hakujitsukai.com>

作成：黒川病院 広報委員会

－編集後記－

明けましておめでとうございます。今年も皆様に役立つ情報をお届けしたいと思っております。本年もよろしくお願い致します。（K・H）